



遠野市記者発表資料  
平成 26 年 3 月 27 日  
経営企画部財政担当

## 東日本大震災災害支援金の状況について

### 【発表の要旨】

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以降、県内外の多くの皆さまから災害支援金が寄せられました。その状況と主な用途についてお知らせします。

### 【発表の内容】

#### 1 災害支援金の状況 (平成 26 年 3 月 20 日現在)

(単位：円)

	市内		市外(県内)		県外		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人	25	3,691,988	9	858,000	124	12,409,661	158	16,959,649
団体	104	27,603,125	11	13,403,641	161	110,362,809	276	151,369,575
小計	129	31,295,113	20	14,261,641	285	122,772,470	434	168,329,224
献本分(注)							277	9,464,528
<b>合 計</b>							<b>711</b>	<b>177,793,752</b>

(注)三陸文化復興プロジェクト「献本活動」分として、銀行口座への振込でのみ支援金を受領しているため、市内外・県外のカテゴリが不可。

#### 2 主な用途

No.	事業名	金額(円)
<b>◆沿岸被災地への後方支援活動</b>		<b>112,901,691</b>
1	ボランティア活動への支援	51,407,615
2	被災者への支援	7,273,847
3	沿岸被災地の産業や文化への支援	27,166,529
4	後方支援活動の検証及び普及	27,053,700
<b>◆市内の復旧・復興活動</b>		<b>64,892,061</b>
5	市内公共施設等の復旧	38,929,570
6	防災・減災対策	4,527,730
7	基金へ積立(次年度以降の事業に活用)	21,434,761
<b>合計</b>		<b>177,793,752</b>

担当	経営企画部財政担当(馬場) 電話 0198-62-2111(内線 140)
----	--

# 東日本大震災への ご支援ありがとうございました

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災から3年が経過しました。  
震災発生直後から市内外の多くの皆さまからのご支援・ご協力を頂き、本市の復旧・復興はもとより、沿岸被災地への迅速な後方支援活動を展開することができました。  
ご支援・ご協力を頂きました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

平成26年3月27日 遠野市長 本田 敏 秋

## ◆ 遠野市災害支援金総額

168,329,224 円 (434 件)

(年度別内訳)		
平成22年度	27 件	39,073,366 円
23 年度	333 件	118,432,297 円
24 年度	50 件	8,675,884 円
25 年度	24 件	2,147,677 円
(居住地別内訳)		
市内	129 件	31,295,113 円
市外(県内)	20 件	14,261,641 円
県外	285 件	122,772,470 円
(個人・団体内訳)		
個人	158 件	16,959,649 円
団体	276 件	151,369,575 円

## ◆ 三陸文化復興プロジェクト 献本活動支援金 9,464,528 円 (277 件)

平成23年度 5,901,164 円(216 件)、 24年度 3,233,624 円(52 件)、  
25年度 329,740 円( 9 件)

※献本活動支援金は、平成25年7月で受付を終了しました。

※同支援金は、銀行口座振込による受領のため、市内外、個人・団体の分類はしていません。

支援金総額 177,793,752 円 (711 件)

※平成26年3月20日現在

## ◆災害支援金を活用した主な事業

<b>沿岸被災地への後方支援活動</b>	<b>112,901,691 円</b>
<b>1 ボランティア活動への支援</b>	<b>51,407,615 円</b>
(1) 被災地支援バス運行等	10,714,795 円
(2) 遠野市災害ボランティアセンター運営費等 …遠野市社会福祉協議会への補助 (23年度：33,692,820 円、24年度：7,000,000 円)	40,692,820 円
<b>2 被災者への支援</b>	<b>7,273,847 円</b>
(1) 被災者職業訓練生送迎バス運行 (23年度：1,041,300 円、24年度：1,919,813 円)	2,961,113 円
(2) 被災避難者世帯への灯油券の交付 (23年度：1,600,000 円…160 世帯、24年度：1,210,000 円…121 世帯)	2,810,000 円
(3) 復興支援イベントへの被災者送迎 …遠野まつり、福幸鍋まつり、わらび座「遠野物語」公演等	1,148,734 円
(4) 被災者の健康診断費用の助成	183,000 円
(5) 被災児童の学業支援（教材備品購入）	100,000 円
(6) 仮設住宅住民等への野菜栽培バックの配布	71,000 円
<b>3 沿岸被災地の産業や文化への支援</b>	<b>27,166,529 円</b>
(1) 沿岸被災企業の市内仮設事務所・倉庫借上支援 (23年度：393,000 円、24年度：900,000 円、25年度：1,500,000 円)	2,793,000 円
(2) 被災離職者雇用企業への助成 (23年度：10,244,975 円、24年度：121,144 円)	10,366,119 円
(3) 沿岸被災地の農地再生活動への助成 (24年度：139,728 円、25年度：400,000 円)	539,728 円
(4) 沿岸被災地への復興住宅の供給体制確立支援 (23年度：2,000,000 円、24年度：2,000,000 円、25年度：2,000,000 円)	6,000,000 円
(5) 沿岸被災地への献本活動 (23年度：1,374,682 円、24年度：3,543,000 円、25年度：2,550,000 円)	7,467,682 円
<b>4 後方支援活動の検証及び普及</b>	<b>27,053,700 円</b>
(23年度：5,321,520 円、24年度：3,160,830 円、25年度：18,571,350 円)	

※後方支援に係る職員等の人件費は除く

<b>市内の復旧・復興活動</b>	<b>64,892,061 円</b>
<b>5 市内公共施設等の復旧</b>	<b>38,929,570 円</b>
(1) たかむろ水光園芸館の災害復旧、改築整備	21,445,560 円
(2) 市内被災住宅の復旧費用の助成 (23年度：3,891,000 円、24年度：3,231,000 円、25年度：3,100,000 円)	10,222,000 円
(3) 市内公共施設の補修・修繕 …地区センター、市民体育館、学校給食センター等	7,262,010 円
<b>6 防災・減災対策</b>	<b>4,527,730 円</b>
…市内避難所へ非常用資機材の配備	
<b>7 基金へ積立</b>	<b>21,434,761 円</b>
…次年度以降の事業に活用	

※復旧・復興に係る職員等の人件費は除く

## 沿岸被災地への後方支援活動の主なもの

遠野市では、震災翌日の大槌町への救援物資搬送を皮切りに、隣接する沿岸被災地への食糧品や生活用品などの提供、災害ボランティアの派遣、仮設住宅整備による被災者の受け入れや生活支援などの後方支援活動を実施してきました。

この支援活動には、全国から集うボランティアの皆さまや多くの市民の皆さまのご協力を頂き、官民一体となった後方支援活動を継続することができました。

### ◇ボランティア活動への支援

平成23年3月22日から市民有志によるボランティアの派遣を開始し、その後は遠野市社会福祉協議会などと連携しながら、全国各地から駆け付けて頂いたボランティアの皆さんを沿岸被災地に派遣してきました。

皆さまからお寄せ頂いた支援金は、ボランティアの送迎バス運行経費や支援活動のための資機材購入費のほか、ボランティアセンターの運営や移転経費に活用させて頂きました。

このことにより、平成23年度7万2千人、平成24年度2万6千人、延べ9万8千人のボランティアの皆さまの被災地での活動を支えることができました。



市民によるボランティアの出発式

### ◇被災者への支援

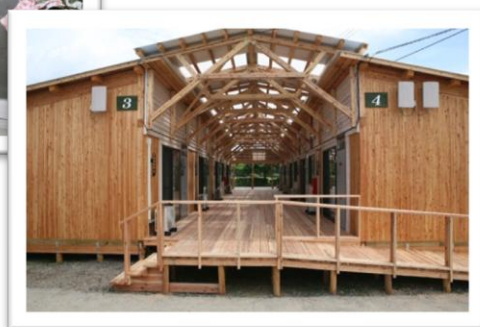
震災直後は、市内避難所や市内福祉施設において沿岸被災地からの避難者を受け入れました。

その後、平成23年7月には市内に仮設住宅「希望の郷『絆』」が完成。雇用促進住宅や民間賃貸住宅なども含め、一時は187世帯484人（平成23年4月15日時点）の方々が沿岸部から遠野に避難して生活しました。現在は136世帯308人（26年1月末日現在）の方々が生活しています。

避難世帯の住民の皆さまには、全国からお寄せ頂いた支援物資を活用しお米や灯油などの生活物資を提供してきたほか、寒さが厳しい遠野の冬を迎え灯油購入費などに利用できる助成券1万円分を交付しました。



市内避難者への支援物資の配達



平成23年7月に完成した仮設住宅

## ◇沿岸被災地への献本活動

被災地では公立図書館や学校図書館が被災し、多くの蔵書が流失しました。本を手に取り、つらさや苦しさから解放されるひとときを過ごしてもらうため、被災地に本を届ける活動を行ってきました。「届いたらすぐ棚に並べられる状態」にして持っていくことを基本とした仕組みを構築し、「必要なときに・必要な本を・必要な分だけ」というコンセプトを掲げ、これまで 12 万冊以上の本を被災地へ送り届けています。

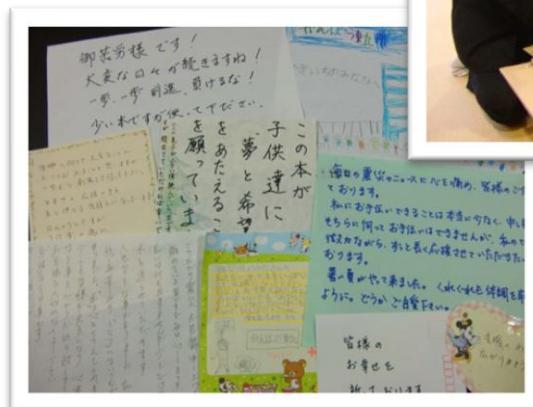
届ける本は、全国の皆さまから寄贈頂いたものや献本活動支援金を活用させて頂きました。送られてきた本の箱の中にはお見舞いや激励の手紙、お菓子、文房具などの支援物資のほか、作業者を激励する手紙が入っていることもあり、その温かい気持ちが地道な作業を続ける人たちを支えてくれました。

### ◆活動状況（平成 26 年 3 月 20 日現在）

寄贈者数	4,860 人
寄贈冊数	27 万 8,200 冊
登録冊数	19 万 6,079 冊
活動に携わった ボランティア数	4,555 人
配本数	12 万 5,212 冊



寄贈頂いた本を整理し沿岸被災地へ



本とともに送られた温かいメッセージ

## 市内の復旧・復興活動の主なもの

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、遠野市内で震度 5 強を観測。

市役所本庁舎中央館が全壊し使用不能となったほか、道路、上下水道、住宅、公共施設などに被害が発生しました。

### ◇市内公共施設等の復旧



新たな交流拠点として期待が高まる芸能館

昔の造り酒屋を再現した施設「たかむろ水光園芸能館」は、震災により大きな被害を受け、使用不能となっていました。平成 24 年 3 月から復旧工事を進め、平成 25 年 1 月に完了。施設の復旧だけでなく、バリアフリー化などを進め、より利用しやすい施設へと生まれ変わりました。今後は、被災地の方々やボランティアの皆さま、交流市町村の皆さまなどが集う、新たな交流拠点施設として活用していきます。

また、東日本大震災により被災した住宅や宅地の早期復興を支援するため、市民や沿岸部からの転居者に対し工事費などに要する経費への補助金を交付しました。

このことにより、平成 23 年度は 68 戸、24 年度は 56 戸の住宅が改修を実施しています。



被災住宅の改修工事を補助

### ◇防災・減災対策

東日本大震災では、大地震により電気・水道・通信に関わる施設が被災した影響でライフラインが寸断されたほか、流通が停滞し食料品やガソリンなどの確保に混乱が生じました。

東日本大震災を教訓に、市内避難所の拠点となる 11 地区の地区センター施設に発電機や投光機など防災資機材のほか、非常食などの災害備蓄品を配備しました。



今後の災害に備えて整備された防災資機材